

2019年度 学校関係者評価について

■委員構成

選任区分	所属等	任期
地元企業の代表者	地元企業 代表取締役	1年
地元企業の代表者	地元企業 顧問	1年
卒業生就職先企業の代表	地元医療機関 代表	1年
地域住民	元 介護福祉施設 施設長	1年
地域住民	薬剤師	1年
本校在校生	丸の内ビジネス専門学校 2年生	1年

■主な評価項目

教育目的、教育活動、学生支援等について。

■評価方法

当校は、学校関係者評価委員のみならず、地域の方々に学校訪問や行事等に参加していただき、学生や教職員の取り組みを見ていただく機会を多く設けている。

そのため、評価委員の方々には、普段の取り組みをみて評価していただける。

■評価基準

- 4：目標に向かい取り組み、よく成果をあげている。
- 3：目標に向かい取り組み、成果を上げているものもあるが、未達成のものもある。
- 2：目標に向かっているが、成果が全く上がっていない。改善を要す。
- 1：目標に向かう取り組みがない。

■評価結果の公表方法

評価結果を踏まえた今後の改善方策については、ホームページにて公表する。

また、保護者への説明、関係業界・地域住民等との意見交換の機会などにおいて説明を行い、今後の取り組みに向けて、連携・協力の強化や支援が得られるようにする。

評価結果

評価項目	学校の具体的な取り組み	評価
教育目的	教科の学習や検定資格取得のみならず、人としてのマナーをわきまえ、協力しあい、自ら考えて行動する人の育成	3.8

【評価委員のご意見】

- ・教育機関として基本の取り組みなので、引き続き力を入れてほしい。

評価項目	学校の具体的な取り組み	評価
教育活動	多様性を尊重する。 男女、年齢、国籍にかかわらず、すべての人が活躍できる環境を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入 ・社会人の受入 ・通信制高校松本キャンパス ・子どもの教育（スーパーキッズ・マルノウチ） 	3.8
	社会に貢献できる教育 <ul style="list-style-type: none"> ・学外での国際交流会 ・講演会講師派遣 ・行政からの依頼講座開催 ・県のタウンミーティング協力 ・学童コース ・市長との懇談会 	3.6

【評価委員のご意見】

- ・国を含めて社会全体が、他者への寛容な気持ちを持ち難くなっている現在、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの人が自分らしく活らせる社会のため、今後も力を入れてほしい。
- ・留学生への支援要請に対して、支援申し出の企業も現われ、社会とのつながりも強くなってきている。今後は社会貢献に向けての発信により力を入れてほしい。
- ・スーパーキッズへの取り組みについて、更に強化してほしい。

評価項目	学校の具体的な取り組み	評価
学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートへの入居時の支援、アルバイトや生活面の指導をしている。 ・企業見学やインターンシップ等により、個々の学生にあった就職指導をしている。 ・経済的、精神的支援が必要な場合は、個人面談等で個々の要望を把握し、対応している。 	3.6

【評価委員のご意見】

- ・卒業後の職業選択の準備のため、今以上にインターンシップの幅を広げることを望む。

■新型コロナウイルス感染症対策について（学校医でもある評価委員より）

新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界中が困難な状況に置かれています。利便主義とグローバリズムがもたらした虚栄の繁栄と自然破壊、地球温暖化、格差社会、少子高齢化の厳しい現実直面し、人類は国家主義による分断と破滅の道を選ぶか、国際協調と助け合いの道を選ぶかの岐路に立たされています。感染収束後は現在と同じ世界に戻れず、価値観が180度変わると言われています。

新興感染症の流行が10年単位で発生していますが、パンデミックはウイルスの伝染力によりますが、原因は乱開発と温暖化と大量の人の移動と交通機関の発達によります。

医療の世界も脆弱な危機管理に問題があることが露呈しました。治療薬とワクチンの開発ができるまで数年かかりますが、日本でも秋口から始まる第二派をどう乗り切るかが大きな問題です。

規制緩和で新たな感染が広がらないよう、個人レベルの生活規制しかないのが現状です。学校内での感染対策に気をつけてください。

国民性もありますが、衛生（手洗い・マスク）習慣がほとんどない学生さんに周知することが大切だと思います。

医師の立場からは、苦学生たちの健康管理が心配になりますので、これからもきめ細やかな生活指導をお願いします。

貴学校法人の建学の精神である、教育を通じて国際貢献する方針の素晴らしさには、常々敬服しております。また、一番大切なことは教育を通じた人づくりだと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

■今後の改善方策

学校関係者評価委員のみなさまよりいただきました貴重なご意見を実現すべく、関係業界・地域住民のみなさまとの連携・協力を強化し、取り組んで参ります。

今後の取り組みについては、改めて評価していただき、評価結果等をホームページにて公表いたします。